

おいしい水ってどんな水？

水のおいしさは、個人によって感じ方に違いはありますが、
『旧厚生省が実施した「おいしい水研究会」での報告』
において、その項目と目標値が示されています。

おいしい水研究会による設定項目	石狩西部広域水道企業団が供給する水の水質	おいしい水研究会による目標値
残留塩素	0.6mg/L	0.4mg/L以下
カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	20.4mg/L	10~100mg/L
遊離炭酸	6.1mg/L	3~30mg/L
有機物 (過マンガン酸カリウム消費量)	0.5mg/L	3mg/L以下
臭気強度 (TON)	1未満	3以下
蒸発残留物	57mg/L	30~200mg/L
水温	8.2℃	20℃以下

※石狩西部広域水道企業団が供給する水の水質は、H25~H28年度の水質検査における「浄水」の平均値

このとおり、
石狩西部広域水道企業団が供給する水は、おいしい水の要件をほぼ満たしています。

なお、残留塩素については、浄水場を出て蛇口から出るまでの間に消費されていきますので、実際に口にするまでには濃度が下がります。

このように、おいしい水を供給できる理由の1つに、
当別浄水場での活性炭ろ過池による浄水処理があります。

活性炭によるろ過は、道内では2カ所しか導入されていない
高度浄水処理方法です。

活性炭には多種多様な孔（あな）がたくさんあり、その孔に有機物や色、
においの原因になる物質を吸着し取り除くことができます。



図 粒状活性炭